

SUPER-VENTURE NEWS PAPER

2003.VOL.3
就活を頑張る学生達が完全編集!
第3号
100YEN

[発行] 超ベンチャー新聞発行委員会
[編集協力] ベンチャービジネス協議会(株式会社ザメディアジョン)
委員会本部/東京都品川区東五反田5-22-37 TEL.03-5798-3577

超ベンチャー新聞

■第三号発刊記念特別巻頭インタビュー

女流書道家・成澤煌藍氏に問う

ベンチャースピリッツとは?就職とは?

成澤煌藍。綺羅華のごとく書道界に現れ書作展において賞を次々獲得。現在師範として活躍。今奮闘を集めている女流書道家の人である。

「おはあちゃんになったら習字の先生になる」。氏は幼少時代、「悪い続けていた」と習字の先生「おはあちゃん」という先入観があったため、後年になっても習字の先生にはなれなと考えていたのだ。そのため、現在若くして書家と名づけられた成澤氏が、それまでには様々な経験をしてきた。

「高校時代は、心理学に興味を持っていました。成澤氏は自己の経験をもとの話から話りました。心理学に興味を持つようになったのは、友達との恋談がきっかけ。大学に進学する際にも、好きな心理学を勉強するため、心理学科を受験合格。しかし、就職率の良から経済学部を選択。成澤氏はこの事を「気の迷い」と表現し、自らの利益に飛びついた事を後悔したという。

「おはあちゃんになったら習字の先生になる」。氏は幼少時代、「悪い続けていた」と習字の先生「おはあちゃん」という先入観があったため、後年になっても習字の先生にはなれなと考えていたのだ。そのため、現在若くして書家と名づけられた成澤氏が、それまでには様々な経験をしてきた。

「おはあちゃんになったら習字の先生になる」。氏は幼少時代、「悪い続けていた」と習字の先生「おはあちゃん」という先入観があったため、後年になっても習字の先生にはなれなと考えていたのだ。そのため、現在若くして書家と名づけられた成澤氏が、それまでには様々な経験をしてきた。

「おはあちゃんになったら習字の先生になる」。氏は幼少時代、「悪い続けていた」と習字の先生「おはあちゃん」という先入観があったため、後年になっても習字の先生にはなれなと考えていたのだ。そのため、現在若くして書家と名づけられた成澤氏が、それまでには様々な経験をしてきた。

「おはあちゃんになったら習字の先生になる」。氏は幼少時代、「悪い続けていた」と習字の先生「おはあちゃん」という先入観があったため、後年になっても習字の先生にはなれなと考えていたのだ。そのため、現在若くして書家と名づけられた成澤氏が、それまでには様々な経験をしてきた。

「おはあちゃんになったら習字の先生になる」。氏は幼少時代、「悪い続けていた」と習字の先生「おはあちゃん」という先入観があったため、後年になっても習字の先生にはなれなと考えていたのだ。そのため、現在若くして書家と名づけられた成澤氏が、それまでには様々な経験をしてきた。

「おはあちゃんになったら習字の先生になる」。氏は幼少時代、「悪い続けていた」と習字の先生「おはあちゃん」という先入観があったため、後年になっても習字の先生にはなれなと考えていたのだ。そのため、現在若くして書家と名づけられた成澤氏が、それまでには様々な経験をしてきた。

「おはあちゃんになったら習字の先生になる」。氏は幼少時代、「悪い続けていた」と習字の先生「おはあちゃん」という先入観があったため、後年になっても習字の先生にはなれなと考えていたのだ。そのため、現在若くして書家と名づけられた成澤氏が、それまでには様々な経験をしてきた。

「おはあちゃんになったら習字の先生になる」。氏は幼少時代、「悪い続けていた」と習字の先生「おはあちゃん」という先入観があったため、後年になっても習字の先生にはなれなと考えていたのだ。そのため、現在若くして書家と名づけられた成澤氏が、それまでには様々な経験をしてきた。

「おはあちゃんになったら習字の先生になる」。氏は幼少時代、「悪い続けていた」と習字の先生「おはあちゃん」という先入観があったため、後年になっても習字の先生にはなれなと考えていたのだ。そのため、現在若くして書家と名づけられた成澤氏が、それまでには様々な経験をしてきた。

「おはあちゃんになったら習字の先生になる」。氏は幼少時代、「悪い続けていた」と習字の先生「おはあちゃん」という先入観があったため、後年になっても習字の先生にはなれなと考えていたのだ。そのため、現在若くして書家と名づけられた成澤氏が、それまでには様々な経験をしてきた。

「おはあちゃんになったら習字の先生になる」。氏は幼少時代、「悪い続けていた」と習字の先生「おはあちゃん」という先入観があったため、後年になっても習字の先生にはなれなと考えていたのだ。そのため、現在若くして書家と名づけられた成澤氏が、それまでには様々な経験をしてきた。

「おはあちゃんになったら習字の先生になる」。氏は幼少時代、「悪い続けていた」と習字の先生「おはあちゃん」という先入観があったため、後年になっても習字の先生にはなれなと考えていたのだ。そのため、現在若くして書家と名づけられた成澤氏が、それまでには様々な経験をしてきた。



プロフィール
なりさわ・こうらん/山形県出身。幼少の頃、近所の書道教室に通う。東北学院大学経済学部へ進学。卒業後、上京し、就職。会社に通う一方、初級力ウンセラ取得。青山学院大学文学部二部教育学科に編入。臨床心理士を目指す、一時休止。その時、幼少の頃に親しんだ書道の道へ進む事を決意。働きながら教室に通い、2年で師範を取得。横浜に書道教室を開講。その後、麻布、自由が丘と教室を増設。現在日本教育書道芸術院さらめ支部支部長。致々の賞を受賞。
<http://www.e-kirameki.com/>



左より三嶋君・劉馬さん・トップページ担当荒井君・成澤氏

× ニュース

- トップインタビュー(1)
- ベンチャー社長 100人インタビュー(2)(3)(9)
- 行徳先生合宿取材(10)
- 編集後記(11)

は好意的にふるまい、陰では悪口を言う醜い関係など、わずらわしくて性に合わない。こういった問題は、学生の頃は避けて通れたが会社では逃げられない。直面しても意識的に孤立した成澤氏は口角の格好ターゲットになっていた。この経験が改めて仕事に関わっていく意味を見つめ直すきっかけになったという。この経験は、実際に会社に入ってみるとは分らない。色々な道筋を決めていく。そんな人生もある。ちなみに彼女は、テレビ恋のから騒ぎにも出演。何で挑戦する彼女の姿勢の環といふ。

書道の改革
「書道に対する敷居を低くする」。成澤氏の今の目標である。今は平日、休日を問わず、常にこの良いアナログを求めて試行錯誤しているようだ。先日、お手本がないままに、好きな字を書くというイベントを開催し、大盛況だったという。「中には内面が激しく出る。改めてそう感じたことを生かし、心理学と字を組み合わせたものが出来ないかと模索中である。O時代よりも今のほうが忙い生活だ。成澤氏の目標に向かって進む人間の強さを感じた。

最後に、書道の魅力について、成澤氏は「こう言いたい。」「目標は終わりがなく、心は常に前を向いて生きたい」と成澤氏の強い信念を表す。言いたい。しかし、在学中にハッパルは崩壊。厳しい就職活動を経験するはめになった。ハッパル時代に就職した人より、自分の方がやる気はあるはずなのに、なぜ自分は就職できないのだろうか。そんなことを思った時期もあったという。そして、この頃から社会女性が生きていく方法について考えるようになったという。就職先が決まりひとまず、東京した。

男の人に負けたくない
「会社に入っても女の人は強い捨てた」と思った。数年間のO.L経験を通過して成澤氏は、もうなやみ、強さを身につけようになったという。男性と同じ土俵に立つためには、2倍、3倍の努力が必要と感じた。「男の人には負けたくないけど、会社に振り回された生活はしたくない」。そんな思いを抱えつつ、出した結論が、手に職を持つことだった。

再び心理学へ
それからは、高校時代に心理学に興味をもっていたことを思い出し、カウセラーとしての道を志す。そして、初級産業カウンセラーの資格を取得。これをきっかけにもっと本格的に心理学を学ぼうと決意。カウセラーの王道、臨床心理士になるために青山学院大学文学部二部教育学科に編入した。二部目の大学生生活は、過去の選択ミスはハッパルに真剣に勉強し打ち込む事ができたという。

挫折。そして復活
心理学の勉強を進めているうちに、「夢